

大崎高等学校 令和6年度 教科：国語 科目：現代文 年間授業計画

教科：国語 科目：現代文 単位数：2単位
対象学年組：第4学年1組
教科担当者：（1組：富田薫）
使用教科書：（新編 現代文（第一学習社））
使用教材：（教科書、ノート、ワークシート、国語便覧）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	新しい発見 エッセイを読む 「新しい地球観」	○抒情的な文章や、日常の記録を読んで意味を知ることができる。 ○短い随筆を書くことができる。 ○さまざまなものの見方について考えることができる。	授業態度・提出物の有無・創作作品の出来・考查の得点・小テストの得点などにより、総合的に評価する	7
5月	新しい発見 エッセイを読む 「数え方で磨く日本語」 1学期中間考查	○随想的な文章や、日常の記録を読んで意味を知ることができる。 ○日本語のこまやかさについて認識を深める。 ○さまざまなものの数え方を再認識使い分けすることができる。	授業態度・提出物の有無・創作作品の出来・考查の得点・小テストの得点などにより、総合的に評価する	8
6月	小説 「こころ」(夏目漱石) 名作小説を読む	読むこと ○文章の形態や表現の特色を意識しながら読むことができる。 ○文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったり要約したりすることができる。 ○登場人物の心理を想像し、行動や心情の変化をとらえることができる。 ○情景や心情の変化に注意して、作品全体のストーリーをとらえることができる。	授業態度・提出物の有無・創作作品の出来・考查の得点・小テストの得点などにより、総合的に評価する	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
7 月	1学期期末考査	○小説読解を通して学んだ語彙や表現を身につけることができる。	授業態度・提出物の有無・創作作品の出来・考査の得点・小テストの得点などにより、総合的に評価する	4
	答案返却			
8 月				
9 月	生活の中の抒情表現	○作品鑑賞力を強化する	授業態度・提出物の有無・創作作品の出来・考査の得点・小テストの得点などにより、総合的に評価する	8
	「詩3編」	○詩歌の特色を意識しながら鑑賞することができる。		
	「創作の楽しみ」	○創作力を高める。		

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	慣用句 二学期中間考査 答案返却 漢字 「入試頻出漢字、現代文重要語」	基礎的な技術と語彙を身につける。 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ウ漢字に関する事項 ○常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字を書くことができる。	授業態度・提出物の有無・創作作品の出来・考査の得点・小テストの得点などにより、総合的に評価する	9
11 月	生活の中の表現 「バグダットの靴磨き」	読むことの力を強化する ○文章の形態や表現の特色を意識しながら読むことができる。	授業態度・提出物の有無・創作作品の出来・考査の得点・小テストの得点などにより、総合的に評価する	9
	評論を読む 「経験の教えについて」	○現代社会に必要な知識と用語を習得する。 ○文中の用例や実例を読み、自らにあてはめて考察することができる。		
12 月	評論を読む 「経験の教えについて」 二学期期末考査	○筋道のある文章の読み書きができる。 ○文中の用例や実例を読み、自らにあてはめて考察することができる。	授業態度・提出物の有無・創作作品の出来・考査の得点・小テストの得点などにより、総合的に評価する	3

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
1 月	慣用句・ことわざ・国語常識 学年末考査	○社会人としての基礎的な常識と語彙を身につける。	授業態度・提出物の有 無・創作作品の出来・考 査の得点・小テストの得 点などにより、総合的に 評価する	7
2 月				
3 月				

大崎高等学校 令和6年度 教科数学科目数学Ⅱ 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：2単位
対象学年組：第4学年1組
教科担当者：（1組：栗原直樹）
使用教科書：高校数学Ⅱ 新訂版（実教出版）数Ⅱ323
使用教材：プリントなど

	指導内容	数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・指数関数	○指数の拡張 ・指数が正の整数の場合の計算ができる。 ・0や負の指数の意味が理解できる。	教科書、プリント 小テスト	5
5月	・指数関数 中間考査	・累乗や3乗根、4乗根の値を求めることができる。 ・指数が分数のときにも、指数法則が成り立つように拡張できる。 ・指数が分数で表された数を、累乗根の記号を使って表したり、逆に、累乗根を用いて表された数を、指数を用いて表すことができる。する。	教科書、プリント 小テスト	4
6月	・指数関数 ・対数関数	・指数のグラフを理解する。 ・対数を理解する。 ・対数の性質、 ・対数の計算、 ・対数のグラフ ・常用対数 ・低変換の公式	教科書、プリント 小テスト	8

	指導内容	数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
7 月	図形と方程式 ・点と座標 期末考査	○直線上の座標と内分・外分 ・直線上の2点間の距離を求めることができる。 ・内分の意味が理解できる。 ・公式を用いて、内分点の座標を求めることができる。	教科書、プリント 小テスト	4
8 月				
9 月	図形と方程式 ・点と座標	・外分の意味が理解でき、公式を用いて外分点の座標を求めることができる。 ○平面上の点の座標と内分・外分 ・公式を用いて、平面上の2点間の距離を求めたり、応用問題を解いたりすることができる。	教科書、プリント 小テスト	4

	指導内容	数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
10 月	図形と方程式 ・点と座標 中間考査	・平面上の線分を内分する点の意味と、その点を求める公式が理解できる。 ・公式を用いて、平面上における内分点や外分点の座標を求めることができる。 ・三角形の重心の意味が分かり、重心の座標を求めることができる。	教科書、プリント 小テスト	7
11 月	図形と方程式 ・直線の方程式 期末考査	○ 2 直線の関係 ・ 2 直線の交点の座標を求めることができる。 ・ 2 直線が平行になるための条件が理解できる。 ・ ある点を通り、与えられた直線に平行な直線の方程式を求めることができる。	教科書、プリント 小テスト	6
12 月	図形と方程式 ・直線の方程式 期末考査	○ 2 直線の関係 ・ 2 直線の交点の座標を求めることができる。 ・ 2 直線が平行になるための条件が理解できる。 ・ ある点を通り、与えられた直線に平行な直線の方程式を求めることができる。	教科書、プリント 小テスト	6

	指導内容	数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
1 月	図形と方程式 ・直線の方程式 学年末考査	・ 垂直な直線の傾きを求めることができる。 ・ ある点を通り、与えられた直線に垂直な直線の方程式を求めることができる。	教科書、プリント 小テスト	4
2 月				
3 月				

大崎高等学校 令和6年度 教科外国語 科目英語表現 年間授業計画

教科：外国語 科目：英語 単位数：2単位
対象学年組：第4学年1組)
教科担当者：(1組：)
使用教科書：(Vivid English Expression I)
使用教材：(プリント 音声教材)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Lesson 15 My father is a Good Cook 家事・生活 ●to不定詞（副詞用法：目的）／to不定詞（副詞用法：感情の原因・理由）	・家事にまつわる表現を学び、使うことができる ・不定詞の副詞用法：目的、感情の原因の使い方を知り、意味がとれる ・英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	4
5月	Lesson 16 School festival 文化祭 ●want [ask, tell]+0+to不定詞／疑問詞+to不定詞	・文化祭にまつわる表現を学び、使うことができる ・英文の中のwant [ask, tell]+0+to不定詞／疑問詞+to不定詞 の構造に気づき、意味がとれる ・英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	7
6月	Lesson 16 School festival 文化祭 ●want [ask, tell]+0+to不定詞／疑問詞+to不定詞 中間考査 Lesson 17 Doing a Homestay ホームステイ ●動名詞／前置詞+動名詞	・文化祭にまつわる表現を学び、使うことができる ・英文の中のwant [ask, tell]+0+to不定詞／疑問詞+to不定詞 の構造に気づき、意味がとれる ・ホームステイにまつわる表現を学び、使うことができる ・動名詞の使い方を学ぶ ・英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	7

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
7 月	Lesson 17 Doing a Homestay ホームステイ ●動名詞／前置詞＋動名詞 Lesson 18 Our National Sport 日本文化 ●現在分詞の形容詞用法／過去分詞の形容詞用法	- ホームステイにまつわる表現を学び、使うことができる - 動名詞の使い方を学ぶ - 日本文化にまつわるさまざまな表現を学び、使うことができる - 分詞の形容詞用法の使い方を学び、意味がとれる - 英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	5
8 月				
9 月	Lesson 18 Our National Sport 日本文化 ●現在分詞の形容詞用法／過去分詞の形容詞用法	- 日本文化にまつわるさまざまな表現を学び、使うことができる - 分詞の形容詞用法の使い方を学び、意味がとれる - 英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	7

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
10 月	Lesson 19 Let's Clean the River! ボランティア ●比較（原級）／比較（比較級）	・ボランティア活動にまつわる表現を学び、使うことができる ・比較（原級比較、比較級）の形を学び、使うことができる ・英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	7
11 月	Lesson 20 Events in My Town 地域の行事 ●比較（最上級）／最上級の意味を表す比較表現	・地域の活動や行事にまつわる表現を学び、使うことができる ・比較（最上級、その他の表現）の形を学び、使うことができる ・英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	8
12 月	期末考査 Lesson 21 I have a foreign friend 異文化 ●関係代名詞（主格）／関係代名詞（目的格）	・異文化にまつわる表現を学び、使うことができる ・関係代名詞（主格、目的格）の構造を学び、意味をとり、使うことができる ・英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	期末考査 ○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	5

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	Lesson 21 I have a foreign friend 異文化 ●関係代名詞（主格）／関係代名詞（目的格） 期末考査 Lesson 22 My Future Dream 将来の夢 ●関係代名詞（所有格）／関係代名詞that	・異文化にまつわる表現を学び、使うことができる ・関係代名詞（主格、目的格）の構造を学び、意味をとり、使えるようにする ・将来の夢についての表現を学び、使うことができる ・関係代名詞（所有格）などを用いた文の構造に気づき、使うことができる ・英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	6
2 月	Lesson 22 My Future Dream 将来の夢 ●関係代名詞（所有格）／関係代名詞that For Communication 4 For Communication 5	・将来の夢についての表現を学び、使うことができる ・関係代名詞（所有格）などを用いた文の構造に気づき、使うことができる ・レストランでの会話を学び、注文することができる ・eメールの書き方を学び、招待状を作ることができる ・英文を聞き取り、必要な情報をメモすることができる	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	7
3 月	For Communication 5 Welcome to Tokyo	・eメールの書き方を学び、招待状を作ることができる ・日本の文化についての文を読み、日本文化について簡単な英語で説明する	○知識・理解 ○発言 ○関心・意欲・態度 ○プリントの提出	6

大崎高等学校 令和6年度 教科理科 科目物理基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2単位
対象学年組：第4学年1組）
教科担当者：（1組：能代谷 優）（〇組： ）（〇組： ）（〇組： ）（〇組： ）（〇組： ）
使用教科書：（改訂新編 物理基礎 （東京書籍 ））
使用教材：（授業プリント）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1 編物体の運動とエネルギー 1 章直線運動の世界	・速さ ・速度 ・等速直線運動	・プリント ・定期テスト ・提出物	8
5月	1 編物体の運動とエネルギー 2 章力の運動の法則	・慣性の法則 ・力 ・力の合成と分解	・プリント ・定期テスト ・提出物	9
6月	1 編物体の運動とエネルギー 1 章直線運動の世界 2 章力の運動の法則 3 章仕事とエネルギー	・等加速度直線運動 ・作用と反作用 ・仕事	・プリント ・定期テスト ・提出物	9

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
7 月	1 編物体の運動とエネルギー 3 章仕事とエネルギー	・仕事の原理と仕事率 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギー	・プリント ・定期テスト ・提出物	8
8 月				0
9 月	2 編さまざまな物理現象とエネルギー 3 章電気	・静電気 ・電気の流れ ・電流の表し方	・プリント ・定期テスト ・提出物	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	2編さまざまな物理現象とエネルギー 3章 電気	・電圧 ・オームの法則 ・直列回路 ・並列回路	・プリント ・定期テスト ・提出物	8
11月	2編さまざまな物理現象とエネルギー 3章 電気	・電力 ・電気と熱 ・磁性 ・モーター	・プリント ・定期テスト ・提出物	9
12月	2編さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱	・熱と温度 ・熱の三態 ・熱の保存	・プリント ・定期テスト ・提出物	9

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
1 月	2編さまざまな物理現象とエネルギー 1章熱 2章波	・熱と仕事 ・波 ・波の表し方 ・定常波	・プリント ・定期テスト ・提出物	8
2 月	2編さまざまな物理現象とエネルギー 2章波	・波の反射 ・音の伝わり方 ・振動する弦	・プリント ・定期テスト ・提出物	7
3 月	2編さまざまな物理現象とエネルギー 4章エネルギー	・エネルギーの変換と保存 ・原子力の利用	・プリント ・定期テスト ・提出物	3

大崎高等学校定時制 令和6年度 教科 地歴 科目 地理A 年間授業計画

教科：地歴 科目：地理A 単位数：2単位

対象学年組：第4学年1組

教科担当者：（1組：山口聖未）

使用教科書：（二宮書店「基本地理A」、帝国書院「新詳高等地図」

使用教材：（自作プリント、パワーポイント）

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	地理の基礎知識の習得	地図帳の活用方法を身に付ける。 地形図に用いられている代表的な地図記号を理解する。 地図記号の成り立ちを理解する。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	8
5月	地球儀の基本的な用語 GMTと時差計算 地図の投影法	緯線、経線、赤道、子午線などの名称と位置を習得する。 方位、白夜、極夜の仕組みを理解する。 時差の計算方法を習得する。 地図の投影法の違いを理解し、必要な情報に応じて投影法を選択することができる。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	8
6月	国家とその領域 日本の位置と広がり 経済・貿易によるつながり 交通・情報によるつながり	国家の三要素を理解し、領空、領海、排他的経済水域、公海、領空の分類を身に付ける。 日本の領域を理解し、周辺諸国との領土問題についても理解する。 身近な例を基に、原料の輸入や物流について考察する。 垂直貿易と水平貿易について理解する。 交通機関の発達について、航空機、鉄道、自動車、船舶の特徴の違いを比較する。 インターネットを例に情報の結び付きと発達について理解する。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	8

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	プレートと変動帯①	プレートテクトニクスについて理解する。 世界の主なプレートの位置と名称を覚える。 日本とネパールの変動帯の違いを地図から考察する。 内的営力と外的営力の違いを理解する。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	6
8 月				
9 月	プレートと変動帯と変動帯② 河川が作る地形①	プレートの境界と地形の関係を理解する。 新期造山帯、古期造山帯、安定陸塊の特徴を理解する。 扇状地を題材に河川の作用について理解する。 地形図から扇状地の土地利用を読み取る。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	8

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	河川が作る地形② 海岸の地形① 大気の循環と気候の地域性	氾濫原、三角州の成因と人々の生活との関わりを理解する。 砂浜海岸の成因と土地利用について理解する。 沈水海岸のうち、リアス海岸とフィヨルドの成因と土地利用の違いを理解する。 気候因子と気候要素の関係を表にまとめる。 大気循環図を作成する。 モンスーンの向きが季節によって変わることから、低気圧と高気圧の発生について理解する。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	8
11 月	経済・文化と私たちの暮らし 世界各地の生活・文化（中国・朝鮮半島・東南アジア・南アジア・中央アジア・西アジア・北アフリカ） 世界各地の生活・文化（サハラ以南のアフリカ・ヨーロッパ・ロシア・アングロアメリカ・ラテンアメリカ）	世界の文化や経済、宗教や言語を理解し、その地域独特な要素が存在することを理解する。 アジア地域(中国・朝鮮半島・東南アジア・南アジア)の文化・経済・宗教・言語を理解し、それが人々の暮らしにどのような影響を与えたか考察する。 アメリカ地域(アングロアメリカ・ラテンアメリカ)の文化・経済・宗教・言語を理解し、それが人々の暮らしにどのような影響を与えたか考察する。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	8
12 月	世界各地の生活・文化（オセアニア） 地球的課題（人口問題・食糧問題）	オセアニア地域の文化・経済・宗教・言語を理解し、それが人々の暮らしにどのような影響を与えたか考察する。 人口問題、食糧問題を学び地球的課題を理解する。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	6

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
1 月	地球的課題（居住・都市問題・資源・エネルギー問題・環境問題）	資源エネルギー問題、環境問題を学び地球的課題を考察する。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	6
2 月	生活圏の諸課題 （日本の自然環境と防災）	一年間の学習を踏まえ、新しい技術を用いた地図の読み方を理解する。 日本の自然環境を学び、一年間の知識を踏まえて、防災に対する意識を高める。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	6
3 月	地理Aのまとめ	一年間の学習のまとめをする。	○定期考査・小テストから知識・理解、思考・表現を評価する ○提出物・出席状況から意欲・態度を評価する ○授業中の観察により、技能・表現を評価する	6

大崎高等学校 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2単位
対象学年組：第4学年1組
教科担当者：第4学年 内田・中村
使用教科書：（高等学校 保健体育（第一学習社））
使用教材：（なし）

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・ラジオ体操 ・体づくりの運動	・正しい方法を理解して実施できるようにする。 ・安全に留意して実施できるようにする。	出席状況 授業態度 実技試験	3
5月	陸上競技（ハードル走）	・インターバルの距離やハードルの台数などのルールを決め、リズムカルに跳ぶことが出来る ・安全に留意して実施できるようにする。	出席状況 授業態度 実技試験	9
	バドミントン	・安全に留意して活動できるようにする。 ・バドミントンのルールや技術の知識を身に付けられるようにする。 ・ねらった場所に打てるようにする。		
6月	体力テスト記録	・正しい方法を理解して実施できるようにする。 ・安全に留意して実施できるようにする。	出席状況 授業態度 実技試験	9
	サッカー	・安全に留意して活動できるようにする。 ・サッカーのルールや技術・知識を身に付けられるようにする。 ・味方が捕りやすいパスを出せるようにする。		
7月	ソフトボール	・安全に留意して活動できるようにする。 ・ソフトボールのルールや技術の知識を身に付けられるようにする。 ・体の軸を安定させてバットを振ることができるようにする。	出席状況 授業態度 実技試験	7
8月				
9月	水泳	・安全に留意して活動できるようにする。 ・4泳法を中心に指導を行い、自己に適した泳法の効率を高め、より速く、より長く泳げることを目指す。	出席状況 授業態度 実技試験	9
10月	テニス	・安全に留意して活動できるようにする。 ・安定したフォームでラリーをすることができるようにする。	出席状況 授業態度 実技試験	12
	卓球	・安全に留意して活動できるようにする。 ・強い振りで、ねらった場所に打つことができるようにする。		
11月	バドミントン	・安全に留意して活動できるようにする。 ・円滑に試合ができるようにする。	出席状況 授業態度 実技試験	12
	バレーボール	・安定したボール操作を行うことが出来る。		
12月	サッカー	・安全に留意して活動できるようにする。 ・安定したフォームでシュートすることができるようにする。	出席状況 授業態度 実技試験	6
1月	バスケットボール	・安全に留意して活動できるようにする。 ・安定したフォームでシュート・ドリブルすることができるようにする。	出席状況 授業態度 実技試験	9
	持久走	・安全に留意して活動できるようにする。 ・一定のペースで走ることが出来る。		
2月				
3月				

都立大崎高等学校 令和6年度 教科 家庭科 科目 フードデザイン 年間授業計画

教科： 家庭科 科目： フードデザイン 単位数： 2単位
対象学年組： 第4学年1組
教科担当者：（1組： 福島 恵美子 ）
使用教科書：（フードデザイン新訂版（実教出版） ）
使用教材：（ ワークシート ）

	指導内容	フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 食生活と健康 1節 食事の意義と役割 2節 食をとりまく現状 2章 栄養素のはたらきと食事計画 1節 からだのしくみと食べ物 2節 炭水化物 2節 炭水化物	 からだをつくる栄養素としての食事、食生活を豊かにするものとしての食事 栄養摂取の変化と現状、生活習慣病と欠食、ライフスタイルの変化、食料自給率、食品の安全性と環境の変化について理解させる。 基本となる栄養素の炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、無機質などの機能と代謝及び水の生理機能について理解させるとともに、それらの栄養素の消化、吸収、排泄についてその仕組みの概要を理解させる。 からだのしくみ、栄養素の役割 炭水化物とは、炭水化物の種類 炭水化物の種類、糖質の代謝	知識・理解と技能・表現をワークシートの記述、課題への取り組み等から総合的に評価する。 関心意欲態度は、出席状況、実習に向かう姿勢から総合的に評価する。	6
5月	3節 脂質 4節 たんぱく質 5節 ビタミン	脂質とは、脂質の種類、脂質の代謝 たんぱく質とは、たんぱく質の種類と栄養価、たんぱく質の代謝 ビタミンとは、ビタミンの種類	知識・理解と技能・表現をワークシートの記述、課題への取り組み等から総合的に評価する。 関心意欲態度は、出席状況、実習に向かう姿勢から総合的に評価する。	8
6月	6節 ミネラル 7節 水・その他の物質 3章 食品の特徴・表示・安全 3節 食品の選択と表示 4節 食品の衛生と安全	ミネラルとは、ミネラルの種類 水、その他の物質 食品の性質と目的に合った加工、貯蔵の方法や食品の表示について関連する各種制度を食品の安全性や食品産業の取組などの点などから理解させ、目的に応じて適切な選択ができるようにする。 食品の表示、加工食品と加工方法、特別用途食品と保健機能食品 食中毒、台所の衛生、食品添加物	知識・理解と技能・表現をワークシートの記述、課題への取り組み等から総合的に評価する。 関心意欲態度は、出席状況、実習に向かう姿勢から総合的に評価する。	8

	指導内容	フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
7 月	1 学期期末課題	1 学期のまとめ	知識・理解と技能・表現をワークシートの記述、課題への取り組み等から総合的に評価する。 関心意欲態度は、出席状況、実習に向かう姿勢から総合的に評価する。	2
8 月	夏季休業			
9 月	3章 食品の特徴・表示・安全 1節 食品の特徴と性質	日常よく使用される食品を取り上げ、食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化などについて理解させる。 また、食品の生産、流通などの現状について理解させ、日本の食料自給率の向上や地産地消について地域の実態と関連させて考えさせる。 穀類、いも類、 砂糖、豆類、種実類 野菜類、くだもの類、きのこ類、海藻類 魚介類、肉類 卵、牛乳・乳製品 油脂類、かんてん・ゼラチン、嗜好食品、調味料・香辛料	知識・理解と技能・表現をワークシートの記述、課題への取り組み等から総合的に評価する。 関心意欲態度は、出席状況、実習に向かう姿勢から総合的に評価する。	8

	指導内容	フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	2節 食品の生産と流通 3節 食品の選択と表示	第一次産業の現状、食品の生産、食品の流通 食品の多様化、食品の選択	知識・理解と技能・表現を ワークシートの記述、課題へ の取り組み等から総合的に評 価する。 関心意欲態度は、出席状況、 実習に向かう姿勢から総合的 に評価する。	10
	2章 栄養素のはたらきと食事計画	栄養素の消化、吸収、排泄についてその仕組みの概要を理解させる。 また、日本人の食事摂取基準を理解させ、食生活と生活習慣病などのかかわりや各栄養素を多く含む食品、効率的に利用するための調理法などを取り上げ、食事計画や献立作成に活用できるようにする。		
	8節 消化と吸収 9節 食事摂取基準と食事計画	消化のしくみ 日本人の食事摂取基準 食事計画		
	4章 調理の基本	食物のおいしさは、味、香り、色、外観、テクスチャー、温度などかかわっており、切り方、調味、加熱やその他の調理操作が料理のできあがりに大きく影響することを理解させ、適切な調理操作ができるようにする。		
	1 節 調理とおいしさ	調理の目的、食べ物のおいしさ		
	2節 調理操作	非加熱操作、加熱操作、加熱調理器具		
11 月	2節 調理操作 3節 調味操作	非加熱操作、加熱操作、加熱調理器具 味を整える	知識・理解と技能・表現を ワークシートの記述、課題へ の取り組み等から総合的に評 価する。 関心意欲態度は、出席状況、 実習に向かう姿勢から総合的 に評価する。	8
	6章 フードデザイン実習	ここでは、食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービスの方法について、一連の実習を通して実践できるようにする。		
	1節 献立作成	日常食の献立を考える際の留意点、日常食の献立作成、供応食・行事食		
	1節 献立作成	テーマ設定と調理実習		
	1節 献立作成	テーマ設定と調理実習		
12 月	1節 献立作成	テーマ設定と調理実習	知識・理解と技能・表現を ワークシートの記述、課題へ の取り組み等から総合的に評 価する。 関心意欲態度は、出席状況、 実習に向かう姿勢から総合的 に評価する。	4
	2学期のまとめ	2学期のまとめ		

	指導内容	フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	2章 栄養素のはたらきと食事計画 10節 ライフステージと栄養計画 5章 料理様式とテーブルコーディネート 1節 調理様式と献立 2節 テーブルコーディネート	乳幼児から高齢期までのライフステージごとの栄養の特徴、食生活上の留意事項、調理法の工夫などについて理解させる。 乳児期の栄養計画、幼児期の栄養計画、学童期の栄養計画、青年期の栄養計画、成人期の栄養計画、高齢期の栄養計画 日本料理、西洋料理、中国料理など代表的な料理洋式についてそれぞれの料理の特徴や献立構成を理解させ、献立作成の要点や手順などを踏まえて、目的や条件に応じた献立作成ができるようにする。また、様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーについても理解させる。 食卓作りが大切であり、各季節や行事など、もてなしの時だけでなく普段の食卓作りにも食卓を演出する必要があることを理解させる。 日本料理の様式と献立、西洋料理の様式と献立、中国料理の様式と献立 テーブルコーディネートとは、テーブルコーディネートのポイント	知識・理解と技能・表現をワークシートの記述、課題への取り組み等から総合的に評価する。 関心意欲態度は、出席状況、実習に向かう姿勢から総合的に評価する。	8
2 月	2節 テーブルコーディネート 2節 テーブルコーディネート 7章 食育 1節 食育の意義と推進活動 1年間のまとめ	和風のテーブルコーディネート、洋風のテーブルコーディネート 中国風のテーブルコーディネート、室内のコーディネート 食育基本法の趣旨を理解させ、食育の重要性について認識させる。また、地域の食育推進計画や行政、事業者などが行っている食育を推進する活動について調査するなどを通して、食育に関心をもたせる。 食育基本法、家庭や地域における食育推進活動	知識・理解と技能・表現をワークシートの記述、課題への取り組み等から総合的に評価する。 関心意欲態度は、出席状況、実習に向かう姿勢から総合的に評価する。	6
3 月	3学期のまとめ	3学期、1年間の学習を振り返る。	知識・理解と技能・表現をワークシートの記述、課題への取り組み等から総合的に評価する。 関心意欲態度は、出席状況、実習に向かう姿勢から総合的に評価する。	4

高等学校 令和6年度 教科

総合 科目 総合的な探究の時間

教科：総合 科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第4学年 1組

教科担当者：（1組：富田・増田・内田・栗原）

使用教科書：（「人間と社会」人間としての在り方に関する教科書）

教科 総合 の目標：

【知識及び技能】よりよい人間関係を築くこと

【思考力、判断力、表現力等】学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける

【学びに向かう力、人間性等】現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
よりよく前向きに生きられるような精神を育てる	学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける	現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	序章 人間と社会～学習の視点 よりよく前向きに生きるために	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 強く生き抜く精神づくり 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
	第1章 生きることの意義 他者との関係など						
	第2章 学ぶことの意義 賢く生きるには	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 頭を活性化させる方法 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと日々のよりよい習慣を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、働き方のいろいろとキャリアプラン	○	○	○	3
	第3章 働くことの意義 経済的・社会的自立に向けて 自己満足・自己達成感・自己実現						
	定期考査			○	○		1
	第4章 役割とマナー 家族関係・社会関係	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 社会生活に学びを取り入れた	○	○	○	8
	第5章 マナーとルール 自由と公共・社会規範						
2 学期	第6章 言語コミュニケーション・非言語 コミュニケーション	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コミュニケーション力を身につけよりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会に役立つ言葉、世界的コミュニケーションを学ぶ	○	○	○	3
	第7章 選択し行動する 自立的思考と行動						
	定期考査			○	○		1
	第8章 チームを動かす力 リーダーシップとは何か	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	3
3 学期	第9章 ワークライフバランス 家庭家族との時間						
	第10章 お金の意義 収支の管理と租税	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
	第11章 消費者市民社会 エシカル消費の意味						
	第12章 支えあう社会 自助共助公助、ボランティア活動 多文化共生社会とは	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	3
3 学期	第13章 地域社会を築く 個人・家族・地域社会の創造						
	第14～19章 自然、学技術と生命倫理、グローバル化、人権と国際平和	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 学びの蓄積と経験の積み重ねと言葉による表現を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の仕組み、環境及び世界的視野の女性	○	○	○	2
							合計 28

東京都立大崎高等学校定時制課程 令和6年度 年間授業計画

教科：情報科 目：情報の科学 単位数：2単位
対象学年組：（第4学年1組）
教科担当者：（1組：鈴木 ）
使用教科書：（新・情報の科学 日本文教出版 ）
使用教材：（なし ）

	指導内容	科目情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	情報化社会に生きる私たち コンピュータによる情報処理と表現 ・コンピュータと情報処理 コンピュータによる情報処理と表現 ・情報のデジタル化	情報社会について考え、これから学習する内容について確認する わたしたちの生活に生かされている情報技術を知り、コンピュータの動作のしくみ、ソフトウェアについて理解する。 数値、文字、音、画像がコンピュータでどのように表現されて扱われているかを学び、デジタルデータの特徴などを理解する。	課題提出 授業への取り組み 出席状況	6
5月	コンピュータによる情報処理と表現 ・情報のデジタル化 コンピュータによる情報処理と表現 ・情報のデジタル化 ネットワークがつながるコミュニケーション ・メディアとコミュニケーション ネットワークがつながるコミュニケーション ・ネットワーク動作のしくみ	数値、文字、音、画像がコンピュータでどのように表現されて扱われているかを学び、デジタルデータの特徴などを理解する。 数値、文字、音、画像がコンピュータでどのように表現されて扱われているかを学び、デジタルデータの特徴などを理解する。 メディアの発達とコミュニケーションの形態の変遷について理解する。 オンラインコミュニティの特性や課題、個人の責任について理解する。 インターネットなどの情報通信ネットワークの仕組み、接続形態を理解する	課題提出 授業への取り組み 出席状況	8
6月	ネットワークがつながるコミュニケーション ・ネットワーク動作のしくみ 情報システムが支える社会 ・情報社会と情報システム ・安全な情報社会を目指して 情報システムが支える社会 ・情報社会と情報システム ・安全な情報社会を目指して 情報システムが支える社会 ・情報セキュリティ ・情報社会における法律	インターネットでのデータのやり取りの仕組み、機器の識別の仕方について理解する ・社会の中の情報システムと情報サービスについて知り、それらシステムを支えるための工夫などについて理解する。 よりよい情報社会を構築していくために必要な考え方やネットワークを利用した犯罪やそれに対する対策、情報システムを安全に利用するため方法について理解する。 情報化が人間に及ぼす健康被害や社会的な影響・問題について理解する。 コンピュータウイルスについて理解する。 情報の暗号化認証技術について理解する。	課題提出 授業への取り組み 出席状況	8

	指導内容	科目情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	情報システムが支える社会 ・情報セキュリティ ・情報社会における法律	情報社会における法律や知的財産権、著作権と著作物のほご活用について理解する。	課題提出 授業への取り組み 出席状況	2
8月				
9月	問題の解決と処理手順の自動化 ・基本的なアルゴリズムとプログラム 問題の解決と処理手順の自動化 ・基本的なアルゴリズムとプログラム 問題の解決と処理手順の自動化 ・基本的なアルゴリズムとプログラム 問題の解決と処理手順の自動化 ・基本的なアルゴリズムとプログラム	アルゴリズムとフローチャート、アルゴリズムの基本構造とプログラムについて理解する。 簡単なプログラム(文字の表示、繰り返し)を理解する。 簡単なプログラム(変数と計算、入力と判断分岐)を理解する。 配列を使ったアルゴリズムとプログラムを理解する。	課題提出 授業への取り組み 出席状況	6
10月	問題の解決と処理手順の自動化 ・基本的なアルゴリズムとプログラム 問題の解決と処理手順の自動化 ・いろいろなアルゴリズム 問題の解決と処理手順の自動化 ・いろいろなアルゴリズム	配列を使ったアルゴリズムとプログラムを理解する。 探索のアルゴリズムについて理解する。 ・整列のアルゴリズムについて理解する。 ・アルゴリズムを比較しアルゴリズムの効率について理解する。	課題提出 授業への取り組み 出席状況	8

	指導内容	科目情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
11 月	モデル化と問題解決 ・モデル化とシミュレーション モデル化と問題解決 ・モデル化とシミュレーション モデル化と問題解決 ・モデル化とシミュレーション モデル化と問題解決 ・情報の蓄積・管理とデータベースのしくみ	問題解決でのモデル化がはたす役割を理解する。 モデル化とシミュレーションの手順を理解する。 表計算ソフトを利用して数理モデルをつくりシミュレーションをしてみる。 待ち行列のシミュレーションを行ってみる。 データベースに関する基礎的な知識を理解する。	課題提出 授業への取組み 出席状況	8
12 月	モデル化と問題解決 ・情報の蓄積・管理とデータベースのしくみ モデル化と問題解決 ・情報の蓄積・管理とデータベースのしくみ	リレーショナルデータベースの具体的な操作と作成の流れ、構造を理解する。 リレーショナルデータベースを実際に作成してみる。	課題提出 授業への取組み 出席状況	4

	指導内容	科目情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
1 月	情報通信ネットワークと問題解決 ・グループによる問題解決 情報通信ネットワークと問題解決 ・問題解決型学習の実践例	グループによる問題解決の利点と留意点について理解する。 問題解決の活動にグループで取り組んでみる。	課題提出 授業への取り組み 出席状況	4
2 月				
3 月				